

男子ホッケー日本代表チーム ワールドリーグ ラウンド2

日付	2015年1月17日 9:00~10:20		
場所	シンガポール	天候	晴れ
試合	第1戦	通算結果	日本 1勝

RESULT

Country

日本
JAPAN

Final 5 - 1

Third Period 5 - 1

Half-time 4 - 0

First Period 2 - 0

Country

バングラデシュ
BANGLADESH

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
8	2	佐々木拓郎			
✓	3	粥川幸司			
5	6	三谷元騎			
✓	7	小野知則(C)	54		
✓	8	北里謙治			
13	9	藤本一平			
✓	15	山下学			
✓	18	膳棚大剛			
✓	19	田中健太			
✓	20	川上良平			
12	21	草野大介			
✓	22	宮崎俊哉			
	24	近藤辰徳			
✓	26	村田和麻			
5	28	星卓			
✓	29	山部晃嗣			
45	30	吉川貴史			
✓	31	新本優			
Coach		姜建旭			
Manager		坂口顕			
UMPIRE		ELSAIED AHMED Ahmed (EGY)			

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	1	GOPE Asim(GK)			
✓	2	RAHMAN Khorshadur			
7	3	CHAYAN Mamunur-Rahman			
✓	4	BABU Rezaul			
✓	5	HASAN Imran			
✓	6	SHETUL Farhad			
✓	7	MAHMUD Rashel			
✓	8	JUBAIR Hasan			
3	9	HOSSAIN Milon			
✓	10	ISLAM Mainul			
✓	11	KHISA Pushkor			
✓	12	DAS Krishno-Kumar(C)			
15	13	SARKAR Roman			
12	14	KAMRUZZAMAN A.H.M.			
✓	15	HOSSAIN Sarowar			
52	17	ISLAM Ashraful			
	18	NIPPON Abu(GK)			
6	19	GOSH S Rimon			
Coach		GOBINATHAN K			
Manager		ISLAM Kamrul			
UMPIRE		ABIDDIN Nor Azhar (MAS)			

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	2	宮崎俊哉	FG	1-0
JPN	11	佐々木拓郎	PC	2-0
JPN	18	田中健太	FG	3-0

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	22	膳棚大剛	PC	4-0
JPN	31	宮崎俊哉	FG	5-0
BAN	44	CHAYAN Mamunur-Rahman	PC	5-1

ワールドリーグラウンド2初戦、世界ランキング14位の日本は同30位のバングラデシュと対戦した。今大会より攻撃チームの敵陣サークルラインから破線内での反則取得後、その地点での再開が可能となった。またロングコーナーの場所が変更され、ルール改正後初の国際大会となった。

昨年に開催された第17回アジア競技大会以来の再戦となるこの試合で、日本はGKに新本、DFには粥川、膳棚、山下、村田が入り、MFには小野、川上、山部、FWにはトッピンに田中、右に北里、左に宮崎という布陣で臨んだ。

(1クォーター)

日本は試合開始直後の2分、バングラデシュから相手サークル内でボールを奪い返すと、ボールを拾った宮崎が振り向きざまにGKの足の間にブッシュシュートを決め、先制点を奪う。11分バングラデシュGKのクリアミスからPCを取得した日本は、佐々木がドラッグフリックシュートをゴール左下に決めリードを2点に広げる。

(2クォーター)

18分に日本はゴールほぼ正面からのロングコーナーで、田中がパスフェイントで自らドリブルでサークルインすると、ライトのやや角度の無いところからヒットシュートを決め、3点目を奪う。その後22分には星がサークルインを試み、PCを取得。佐々木のドラッグフリックシュートは決まらなかったものの、リバウンドからPCを再取得。これを今度は膳棚がドラッグフリックシュートで記念すべき国際大会初ゴールをゴール左下に決め、前半は日本が4点のリードを奪い折り返す。

(3クォーター)

第3クォーター開始直後の31分、日本は中盤で宮崎がボールを奪いカウンターを仕掛けると、田中の中央へのドリブルから北里にパスを送ると、最後は宮崎がGK前でタッチシュートを決め5点目を奪う。バングラデシュは44分ライトからの打ち込みからPCを取得すると、ドラッグフリックシュートからゴールを奪い1点を返す。

(4クォーター)

最終クォーターはお互いに積極的にゴールを狙い、何度かチャンスがあったがどちらも追加点を奪うことなく試合終了。

プールマッチ第2戦目は18日、メキシコに勝利を収めたポーランドと行う。

日本	8	シュート数	2	バングラデシュ
	4	PC数	1	